



特集1 おかやまフェアトレードデー!	P 2
特集2 情報公開	P 3
事業報告 情報・図書ボランティア研修会 ほか	P 4
私、岡山に住んでいます フレンドリー・スイーツ テレココ オーナー 小林 テレサさん(アメリカ)	P 7
世界の文化 ～子育て編～	P 8
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ 岡山フェアトレードの会	P 8
お知らせ 海外技術研修員到着 ほか	P 9
イベントカレンダー 国際貢献・協力セミナー ほか	P 9

おかやま 国際交流



身近なところで売られているフェアトレード認証商品



パネルディスカッションで意見を発表する鎌田 安里紗氏

おかやまフェアトレードデー!

共催: JICA中国、岡山フェアトレードの会

5月20日(土)

5月は世界フェアトレード月間です。フェアトレード(公平・公正な貿易)について理解を深める「おかやまフェアトレードデー!」を岡山国際交流センターで開催しました。

イベントとして5月13日から1階ロビーで開催した資料展示や近隣のカフェの協賛によるカフェマップのほか、当日は、ワークショップ「パーム油のはなし」、ポスターセッション「私たちの活動紹介」、エシカルファッションプランナーとして活躍する鎌田 安里紗氏による基調講演「私とフェアトレード」、鎌田さんと県内の3名のパネリストによるパネルディスカッション「フェアトレードってなあに?」と、4つのイベントを行いました。

(詳細は、次ページをご覧ください。)

ワークショップ

ファシリテーター 岡山県JICAデスク 横山 明子氏
 ゲスト解説 山口県JICAデスク 木下 愛氏

ポスターセッション 活動発表団体

おかやま山陽高校インターアクト、岡山フェアトレードの会、岡山ユニセフ協会、
 コットン古都夢、jam tun(ジャムタン)、ダフェプロジェクト、ネグロスキャンペーン岡山

基調講演 講師/ パネルディスカッション パネリスト

モデル/エシカルファッションプランナー 鎌田 安里紗氏

パネルディスカッション

コーディネーター 岡山フェアトレードの会幹事 流尾 正亮氏
 パネリスト jam tun主宰 田賀 朋子氏
 コットン古都夢スタッフ 田中 智子氏
 おかやま山陽高校3年生 ビラン・アンドレさん



ワークショップには33名が参加して、お菓子や洗剤などの製品に幅広く使われているパーム油やその生産農家をテーマにしたクイズやロールプレイに挑戦しました。そして、途上国の生産者を守るために自分たちができることを話し合い、パーム油の農園開発と環境破壊の問題への理解を



ワークショップ講師 横山氏

深めました。

県内の7団体によるポスターセッションでは、合同ミニプレゼンテーションの後、それぞれの展示ブースで詳しい発表が行われました。参加者は、思い思いにブースを訪ねて商品を購入したり質問をしたりして、フェアトレードやNGOによるセネガルやネパール、フィリピン等途上国の支援活動への理解を深めました。



ポスターセッション岡山フェアトレードの会のブース



ポスターセッション jam tunのブース

基調講演では、講師の鎌田氏が、ファッション業界の価格競争によって劣悪な労働環境を強いられる途上国の現状と私たちの消費のあり方に疑問を投げかけ、エシカル(倫理的な)ファッションの意義や、「貧困問題と環境問題をビジネスの仕組みで解決する活動」としてのフェアトレードを説明しました。そして、途上国や国内の生産者を訪ねて交流する



基調講演をする鎌田 安里紗氏

スタディツアーの事例を紹介しました。「生産者の顔が見えるフェアトレードの製品は大切にできて誇りが持てる」「買い物とは、誰を応援したいかという気持ちを届ける投票である」「フェアトレードのことを100%理解する人が3人いても300にしかならないが、30%理解できる人が100人集まれば、3,000の力になって社会にインパクトを与えられる」などの鎌田氏のメッセージは、会場の約100名の参加者の共感を呼びました。

引き続き行われたパネルディスカッションでは、鎌田氏が会場の参加者からの質問に答え、また県内の3名のパネリストが加わって、フェアトレード

に対する想いや日頃の活動について発表しました。そして、来場者も交えた全員参加型のグループディスカッションとなり、「悩んだときの対処法は?」「フェアトレードを広めるためにどうする?」などの設問に対して、各自がボードに意見を書いてグループ内や会場全員で共有し、建設的で楽しい議論が続きました。



全員参加型パネルディスカッション

グループで話し合う様子



グループで話し合う様子

平成28年度収支計算書 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

総括表

〔Ⅰ〕事業活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産運用収入	20,780,185	20,780,185	0
特定資産運用収入	398,859	398,859	0
会費収入	1,472,000	1,472,000	0
事業収入	1,329,304	104,000	1,225,304
負担金収入	1,436,609	150,000	1,286,609
補助金収入	440,000	181,000	259,000
受託事業収入	49,197,623	7,025,623	42,172,000
利用料金収入	93,650,240	0	93,650,240
雑収入	8,084,274	3,879,460	4,204,814
他会計繰入金収入	4,000,000	4,000,000	0
事業活動収入計	180,789,094	37,991,127	142,797,967
事業費支出	145,681,541	12,635,197	133,046,344
管理費支出	15,300,498	15,300,498	0
他会計繰入金支出	4,000,000	0	4,000,000
その他の支出	2,032,199	0	2,032,199
事業活動支出計	167,014,238	27,935,695	139,078,543
事業活動収支差額	13,774,856	10,055,432	3,719,424

〔Ⅱ〕投資活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
基本財産取崩収入	300,000,000	300,000,000	0
特定資産取崩収入	0	0	0
建物付属設備売却収入	0	0	0
投資活動収入計	300,000,000	300,000,000	0
基本財産取得支出	300,000,000	300,000,000	0
特定資産取得支出	14,191,900	14,191,900	0
建物付属設備取得支出	0	0	0
投資活動支出計	314,191,900	314,191,900	0
投資活動収支差額	△ 14,191,900	△ 14,191,900	0

〔Ⅲ〕財務活動収支の部

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
財務活動収入	0	0	0
財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0

〔Ⅳ〕予備費支出

(単位：円)

科目	合計	一般会計	特別会計
当期収支差額	△ 417,044	△ 4,136,468	3,719,424
前期繰越収支差額	47,768,160	18,184,563	29,583,597
次期繰越収支差額	47,351,116	14,048,095	33,303,021

一般財団法人岡山県国際交流協会 評議員名簿

平成29年5月31日現在

役職名	氏名	職名
評議員	青山 肇	株式会社 中国銀行 代表取締役専務
〃	沖垣 達	重井医学研究所名誉所長
〃	粕谷 明	岡山県市長会事務局長
〃	金森 満 廣	一般社団法人 岡山経済同友会事務局長
〃	高橋 邦 彰	岡山商工会議所専務理事
〃	高宮 純 一	日本貿易振興機構 (JETRO) 岡山貿易情報センター所長
〃	辻 英 明	公立大学法人 岡山県立大学学長
〃	中島 博	岡山県経済団体連絡協議会座長
〃	松尾 茂 樹	岡山県県民生活部長
〃	山本 哲之進	岡山県町村会事務局長

(五十音順)

一般財団法人岡山県国際交流協会 役員名簿

平成29年5月31日現在

役職名	氏名	職名
代表理事	末長 範彦	岡山県経営者協会会長
業務執行理事	肥塚 秀文	一般財団法人 岡山県国際交流協会事務局長
理事	浦上 典江	岡山日本語センター理事長
〃	大月 史嗣	学校法人加計学園 学園国際交流局国際室長
〃	近藤 英生	津山国際交流の会事務局長
〃	鈴木 剛史	公設国際貢献大学校施設長
〃	曾田 佳代子	一般社団法人 大学女性協会岡山支部支部長
〃	竹田 義宣	岡山県教育庁高校教育課長
〃	田中 哲也	岡山市市民協働局国際課長
〃	堤 博子	国際ゾンタ26地区岡山ゾンタクラブ理事
〃	橋本 信子	岡山大学・岡山理科大学非常勤講師
〃	原田 美樹	岡山大学グローバル・パートナーズ事務局 国際企画課長
〃	松畑 熙一	学校法人中国学園中国学園大学・中国短期大学学長
〃	森 健太郎	学校法人森教育学園副理事長
〃	横田 節子	国際ソロプチミスト岡山会長
〃	吉田 光宏	岡山県県民生活部国際課長
監事	上田 英夫	一般社団法人 日本旅行業協会中四国支部岡山地区委員会委員長
〃	吉岡 誠	岡山青年国際交流会顧問

(五十音順)

情報・図書ボランティア研修会

4月18日(火)

はじめに当協会の肥塚事務局長が、現在、延べ350名近くのボランティアの協力により各事業が遂行されていることを伝え、ボランティアへ感謝の言葉を述べました。参加した情報相談コーナー、図書資料室合わせて10名のボランティアは、今年度の実施事業や活動内容の確認をし、そして日頃の活動について改善点を話し合いました。

また、近年、1階情報相談コーナー、4階図書資料室ともに外国人の利用者が減っている現状に対して、「各自が簡単に情報収集できる時代になってきている」「在住外国人の

生活スタイルの変化」などの理由を挙げ、多くの方に利用してもらえ方法や時代に合った情報提供のあり方などについて意見交換をしました。



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。



研修会の様子

英語による絵本の読み聞かせ会①

6月11日(日)

講師：岡山大学留学生 ファグラ・スクムニさん
岡山大学留学生 ジェニングス・イーサンさん

平成29年度の第1回となる「英語による絵本の読み聞かせ会」を42名の参加者を迎えて開催しました。

イギリス出身のファグラさんが読んだのは、日本でもおなじみの絵本である「The Enormous Turnip(おおきなかぶ)」。物語のなかでキーワードとなる「turnip(かぶ)」「grow(育つ)」「pull(ひっぱる)」の3つの単語を事前に確認しました。ファグラさんのゆっくりで表情豊かな読み聞かせを子どもたちはしっかりと聞き、クライマックスのかぶが抜けるシーンでは笑顔があふれていました。

続けてアメリカ出身のジェニングスさんが、自ら推薦した絵本「Where the Wild Things Are(かいじゅうたちのいるところ)」を読みました。こちらのキーワードは「grew(育った)」「roar(うなり声)」「supper(夕飯)」。冒険心をくすぐる不思議な世界観の物語です。ジェニングスさんは説明を加えたり、子どもたちの様子を見ながら強弱をつけたりと、工夫をし

ながら読みました。

読み聞かせの後、ジェニングスさんの指導



楽しそうに絵本を読むファグラさん(左)とジェニングスさん(右)

でアメリカ版「伝言ゲーム」をしました。ルールは日本と同じですが、大きく違うのは「英語を聞き取り、英語で伝える」ということ。子どもたちとファグラさんは輪になり、ジェニングスさんからお題が発表されました。子どもたちは戸惑いましたが「聞こえたままで発音して次の人に伝える」というコツを徐々につかみました。

参加者からは「知っている絵本を英語で聞けて良かった」「怪獣がおもしろかった」「英語のゲームをまたやってみたい」などの感想が寄せられました。

第1回 留学生と県民との交流会 カナダ編

6月17日(土)

講師：岡山大学留学生 マクドナルド・アレクサさん
岡山大学留学生 ヨシダ・ケンさん

岡場で暮らすカナダ出身の留学生と35名の県民が集い、交流会を開催しました。今回はカナダ編として、マクドナルドさんとヨシダさんが、出身国カナダの歴史や国の成り立ち、地理、観光地、食べ物、お祭りなど、様々なジャンルについて詳しく紹介しました。

講師が発表のテーマとして挙げた「Multiculture(多文化)」はカナダの大きな特徴であり、よく理解するためには国の成り立ちを学ぶ必要があります。講師の分かりやすい話を聞き、参加者からは「カナダについて良く理解できた。歴史や地理など



講師のヨシダさん

様々なことを知ることができ、カナダに対する興味が増した」などの感想がありました。

留学生という若い世代による発表から学ぶものは多くあります。フリートークでは、講師の親しみやすさによって話しやすい雰囲気が作られ、各テーブルでは参加者同士打ち解けて話がはずみました。



フリートークの様子(左が講師のマクドナルドさん)



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

「岡山のCOOL 発見!」第1回 岡山COOL発見の旅 ～瀬戸内・笠岡島めぐり～

7月9日(日)

共催：一般社団法人大学女性協会岡山支部

出演：カン・ユンスさん（韓国）、ピンチャー・ローラさん（イギリス）

フォヌア・モーゼスさん（オーストラリア）、ベドーラ・レイチェルさん（アメリカ）

司会：沖垣 達さん（医学研究者）、角田 みどりさん（中国短期大学教授）

島めぐり



イベントの様子



こちらのQRコードを読み取り、
動画をご覧ください。

外国人の視点から、新たな岡山の魅力（COOL）を発見する県民参加型のイベントに、延べ100名が参加しました。



島めぐりで北木石に興味を持つ出演者

今回は「岡山のCOOL発見の旅」を

テーマに、出演者全員が事前に瀬戸内・笠岡島めぐりに出かけました。笠岡の島づくりに長年携わる守屋 基範氏（笠岡市役所）の引率で、北木島、真鍋島、白石島をめぐり、島を知り尽くした方々に島内を案内していただき、若い移住者の皆さんからは新たな取り組みをお聞きしました。

イベントでは、旅の様子を撮影した映像を見た後、出演者は写真を投影しながら、旅を通して感じた岡山のCOOLについて話し合いました。「笠岡諸島の海と空のコントラストの美しさや豊富な種類が咲き誇るあじさいがCOOL」（ベドーラさん）、「海や山、小さな路地など一日でいろんな景色が見えるところが

COOL」（ピンチャーさん）など、島々の美しい風景は大変印象に残ったようでした。

また、フォヌアさんは「つながり」をテーマに、祖父母が住むトンガと似た青い建物や民家、様々なものをつないでいる海をCOOLと述べ、カンさんは、北木島の廃業になった採石場に木や植物が生えているのを見て「人間の歴史が終わるところに自然の歴史がはじまる。人間と歴史の交差が見えるのは、この島だけで

ありCOOL」と語りました。

会場からの質問タイムなどもあり、多様な考えに触れるとともに、笠岡諸島の魅力を存分に感じた会となりました。



イベントの様子

日本文化紹介事業 ～茶道・折り紙体験～

7月22日(土)

講師：茶 道 石井 昌子氏
折り紙 難波 稔明氏



こちらのQRコードを読み取り、
動画をご覧ください。



お茶を点てる様子

岡山で暮らす在住外国人の参加者33名が、茶道と折り紙を楽しみました。茶道では、先生のお点前を拝見し、お菓子と先生のお点てたお茶をいただきました。また、自分でお茶を点てる体験もしました。参加者からは「難しかったけど、おもしろかった」「楽しかった!やっぱり先生の点てたお茶はおいしい」「初めての茶道体験で、どのように点てるのかを学べて楽しかった」などの声を聞きました。

和室に触れる機会が減っている中、参加者は正座に挑戦するなどして、より日本を感じることができました。

しゅりけん

折り紙ではホタルや舟、手裏剣、シャツ・スカートに加え、カブトガニやチョウチョ、ばらといった難しいテーマに挑戦する参加者もいました。レベルの高い参加者から教えてもらう人もいました。外国人の折り紙への関心がとても高いことが分かりました。

「日本人が自分たちの文化を他の国々の人に紹介するのは本当に良いことだ」「日本に住んで2年目になるが、改めて日本の文化を知って良かった」「外国人が日本の文化について学べるとても良い機会だ」などの感想を得ました。

外国の方々が見る日本の伝統にとっても興味を持っている様子が見え、日本文化を発信することの必要性を強く感じました。



折り紙に挑戦

「英語による絵本の読み聞かせ研修会」

7月23日(日)

講師：多言語絵本の会 RAINBOW 代表 石原 弘子氏

当協会が開催している「英語による絵本の読み聞かせ会」に参加予定のボランティア講師や、外国語による読み



中国語「うんとこしょ」は「ヘイヨー!」(中央が講師の石原氏)

聞かせに関心のある方を対象に、「多言語絵本と電子絵本」をテーマとして、多言語での絵本の読み聞かせ活動をしている石原 弘子氏を講師に迎え開催しました。英語だけではなく色々な国の言語による絵本の読み聞かせのノウハウやコツ、外国語の絵本の探し方や用意の仕方などを学びました。

日本語教育のボランティアをしていた頃、外国人の母親が母語を軽視している姿をたくさん見てショックを受けたという石原氏。



英語と日本語の掛け合いのようなリズムが楽しい

「外国にルーツがあることは財産。母語を大切にし、子どもと一緒に楽しみ、継承していく場を提供できたら」と考え、周囲

の協力を得ながら「多言語絵本の会RAINBOW」を立ち上げた経緯を語りました。

リズムや聞き手の年齢による読み方の違いなど、読み聞かせに欠かせないスキルを学んだあとは、参加者の代表と外国人ボランティアがペアになり、日本語と外国語でそれぞれの絵本の読み聞かせを行いました。日本語とともに『おおきなかぶ』は中国語、『できるかな?』は英語、『ぴよんぴよんかえる』はタイ語の3言語での読み聞かせでした。特に、タイ語の読み聞かせは初めてという参加者が多く、カエルの鳴き声「カドッカリ、カドッカレ」というリズムカルな繰り返しは参加者の興味をひき、会場に笑顔があふれました。



タイ語「カドッカリ、カドッカレ」がリズムカル

最後に、石原氏が手掛けている多言語電子絵本をとりあげました。読む人それぞれのペースで楽しめる工夫が満載の電子絵本です。「外国にルーツをもつ子どもは日本語の獲得ができ、その一方で母語の保持にも役立つ」と語りました。

参加者24名からは「母語を大切にしてほしいという気持ちに同感し、感動した」「なじみのない言語でも楽しませるコツがわかった」「多言語読み聞かせの社会的な重要性がわかった」という感想が寄せられました。

地域共生サポーター養成講座

7月29日(土)

講師：多言語コミュニティ通訳ネットワーク共同代表 飯田 美奈子氏

県内で生活する外国人住民のコミュニケーションや生活面の支援に関心のある県民と、岡山県に登録している地域共生サポーター47名を対象に開講しました。

講師に飯田氏を迎え「多文化共生とは何か」「異文化間対立と対話の重要性」などについて講義を聞きました。そして、飯田氏が提示した「中国残留邦人が中国へ一時帰国し、その後、日本の病院で治療を受けようとしたとき、中国に頻繁に帰るのであれば中国で治療したほうがよいのではないかと言われ、つらい思いをした」「日本語が上手ではない外国人がPTAに選ばれて悩んでいた」などの外国人が直面する様々な事例をグループに分かれて考えたり、サポーターとしての活動のあり方について真剣に話し合いました。



講師の飯田 美奈子氏

出身の外国人より中国、韓国など東アジア出身の外国人への差別が多い現実について真剣に考えるべきだ」という参加者自身の経験に基づいた意見や提案などがたくさんあり、多くの情報やアイデアを共有することができました。

県内在住の外国人を地域共生の構成員として認識するために重要なことは、支援ではなく、共に生きる意識を高める姿勢であることに改めて気付く良い機会となりました。



グループワークの様子

「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

一出身地について

シカゴはニューヨーク、ロサンゼルスに次いでアメリカで3番目に大きい都市。とてもきれいな町で、有名な病院や大学が多く、研究者や医者、学生、車関係の方が多く住んでいます。シカゴのダウンタウンは彫刻などの建築が素敵で、美術館、博物館、水族館が多く、火曜日は美術館と博物館に無料で入れるんですよ。



芸術の街シカゴ(出典:https://pixabay.com/)

一縁のあった岡山

アメリカの美術大学に在学中、かわいがってくれていた染色の先生が、アフリカ、インド、日本などで研究を進めていて、23歳の時、先生の代わりに藍染の研究で岡山に来ました。冬に来たので、すごく寒かったのを覚えています。その頃、牛窓で五右衛門風呂があるようなとても古い家に友達と一緒に住んでいました。アメリカの大学を卒業した後タイに留学して、友達の多い岡山にまた戻って来ました。



店を始める前に手がけた染色作品

一店を始めたきっかけ

倉敷市で大きな家を借りて藍染教室をしていましたが、その家を出なければいけなくなり、悲しいことに作品も作らなくなりました。主人が牛窓でカフェをしているので、その店でケーキを作っていました。店が狭くてオープンがひとつしかなかったため、大きなオープンなどがそろっているテナント募集を見つけて、「テレココ」を去年オープンしました。「テレココ」とは、仲の良い友達のように身近で優しく、心に楽しいスイーツという意味です。

一子供のころ食べた手作りの味をベースに

ここでは、全粒粉を使って誰にでも安心して食べてもらえるようなパンやケーキを作っています。卵、バター、牛乳が入っていないケーキもあります。お客様から「子どもが小麦粉、卵アレルギーでケーキが食べられなかったけど、誕生日に初めて食べら

心が喜ぶ食を届ける

フレンドリー・スイーツ テレココ オーナー

小林 テレサさん

Teresa Kobayashi



アメリカ イリノイ州出身



れたケーキでした」と言われて、本当に嬉しかった!今、動物性の食品が食べられない方のために、卵、バター、牛乳が入ってなくても柔らかくておいしいシナモンロールを考え中!おいしいケーキを作らないといけないので、失敗もあるけれど…。この店ではどんな方でも食べられるものが何か見つかると思います。

一充実した毎日

3年前から岡山大学で英語教師もしています。ほぼ毎日、多い日は6時間くらい英語を教えています。大学の授業が終わってから店に戻って来て、夜8時までケーキを焼いたり、次の日の準備をしたりしています。休む暇はないですね。大学で教えるのは好き!本当はインテリアの仕事がしたいと思うくらいインテリアもすごく好きです。やりたいことがたくさんあります!



スイーツを試作中

一今後の目標

パンやケーキの種類を増やして、いつも珍しいものやおいしいものがある店にしたい。レトロなビルの壁紙や床を改装して、インテリアもしてみたい。店のインテリアもまだ終わっていないので、台所をもっとかわいくして、週1回ケーキ教室をしたいと思っています!



フレンドリー・スイーツ テレココ
岡山市北区下伊福上町 15-19 ZEUS岡山北102
TEL 086-289-5894
営業時間 8:00 ~ 20:00
定休日 木・金・土曜

子育てにも、各国のお国柄が反映されているようです。

カナダ



マクドナルド・アダムさん
(バンクーバー出身)
洋菓子プロデューサー／滞在歴24年

「行ってきます」「ただいま」「お帰りなさい」日本ではあたり前のあいさつですが、カナダの生徒はこのような言葉を使いません。文化が異なるからです。

カナダの学校(小学校から高校まで)では皆それぞれ好きな服装です。ピアス、タトゥー、坊主頭、あごヒゲ、破れたジーンズなど、どんな格好でも自由で規則はありません。昼食も自由で、カフェテリアを利用したり家からお弁当を持参したりする人もいますし、コンビニで買って食べる人もいます。なんとレストランへ出かける人さえいます!

このように、カナダでは、子どもたちを比較的自由な環境で育てています。

日本の子育てとは少し違いますが、



一般的なカナダのカフェテリア

バングラデシュ



パールビン・ソニアさん
(クシュティア出身)
主婦／滞在歴8年以上

私の経験をもとに考えると、バングラデシュでは子育てをするにあたって次の7つのことをとても大切に考えていると思います。

1. 特技を持つよう励ますこと(習いごとはコストがかかりますが)。
 2. 努力をほめること(挑戦することを恐れないように)。
 3. それぞれの好みの学習スタイルを尊重すること(音楽を聴きながらでもいいのです)。
 4. 小さいうちから本を読み聞かせること(早すぎることはないのです)。
 5. 夕食を家族一緒にとること(難しかったら朝食や夜のおやつだけでも)。
 6. きちんと睡眠時間を確保すること(メディアは早々に切りあげて)。
 7. たくさんハグをすること!(お互いに癒やされますね)。
- これら7つのコツを意識しながら、岡山で3人の子育てをがんばっています。



5歳の長女と。現在3人の子育て奮闘中です。



岡山フェアトレードの会



団体概要

フェアトレード(公平・公正な貿易)とは、途上国で生産される作物や製品を適正な価格で継続的に購入して、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す仕組みのことです。

現在、世界各地に約2,000のフェアトレードタウン(シティ)が生まれ、まちぐるみでフェアトレードに取り組んでいます。日本でも熊本市、名古屋市、逗子市の3市が認定されています。

岡山フェアトレードの会は、「顔の見える買い物で、世界を変える」を合言葉に、フェアトレードシティ岡山を目指して、2015年に有志が集まり設立した市民団体です。

代表者 奥津 幸
事務局 〒700-0812 岡山市北区出石町1-8-6
コットン古都夢内
連絡先 TEL/FAX:086-225-4663
E-mail: okayama.fairtrade@gmail.com
公式Facebook 「岡山フェアトレードの会」で検索

活動紹介

普及啓発活動として「岡山フェアトレード通信」のWeb発信や、研修交流会の開催、イベントへの出店や公民館等への出前講座などを行っています。2016年に作成した岡山市内の「フェアトレード店舗マップ」をWebで公開しています。毎月の例会の参加者も募集中です。



Google Mapで公開中のフェアトレード店舗マップのQRコードです。



「第12回食育推進全国大会 in おかやま」に出展(7月1日)



海外技術研修員到着

協会では、発展途上国等の青年を研修員として受入れ、必要な技術の習得を通じて出身国の発展に寄与する人材を育成する「国際貢献ローカルトゥローカル技術移転事業」を岡山県から受託しています。

今年度は、5か国5名の受入れが決定しており、内2名が岡山に到着しました。ブラジルから中江清原テルマさん(天然染織・デザイン、中国デザイン専門学校)、ミャンマーからネイ・リン・ピョーさん(肝・胆・膵外科、岡山大学病院)が来日し、日本語の研修を受けて、それぞれの受入機関で研修しています。母国の発展を強く願い、日本の文化や専門分野の技術を吸収する毎日を送っています。



後楽園にて
(左がネイ・リン・ピョーさん、右が中江清原テルマさん)

※()内は、専門、研修先

日本語教室開設・活動支援事業 (日本語教室開設サポート制度)

県内在住の外国人にボランティアで日本語を教える活動を推進するため、日本語教室の開設を考えている方や、教室を開設してから1年以内の団体などに対して、当協会登録の「日本語教室開設支援サポーター」がアドバイスや教室見学の受入れを行いますので、ご活用ください。

対象団体

県内に住所を置き、月2回以上、定期的かつ自主的に、地域に在住する外国人を対象とした日本語教室を開設しようとしている、または開設してから1年以内の個人、少人数のグループ。

サポートの内容

当協会の「日本語教室開設支援サポーター」に登録している日本語ボランティア教室への見学について、協会が調整を行います。

申請方法&問合せ

申請書を協会のホームページからダウンロードし、郵送または持参。事業の詳細(実施要項、募集要項)はホームページをご覧ください。詳しくは企画情報課まで。(TEL:086-256-2914)

留学促進フェア in OKAYAMA 2017

大学生、高校生のみならず! 留学について考えたことはありますか? 英語に自信がないし、よくわからないし... と思っている人は、先輩の話を聞いてみませんか? 自分の夢をかかなえる方法として、「留学」を考えてみませんか?

日時 平成29(2017)年10月28日(土) 13:20開会(12:30開場)
場所 おかやま未来ホール(イオンモール岡山5階)

プログラム **【第一部 対談】**
伊原木知事と関根麻里さんが、それぞれ御自身の留学経験をもとに対談します。

【第二部 情報収集】

- ①県内大学、企業の留学経験者に、直接質問したり、体験したことを聞いたりすることができます。
- ②20以上の米国大学の相談ブースや奨学金、渡航手続などの説明コーナーがあります。

問合せ 岡山県国際課(TEL:086-226-7284)

イベントカレンダー

※都合により、内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

EVENT CALENDAR

10月

1日(日) 国際貢献・協力セミナー

県民の国際貢献に対する理解を深め、国際貢献活動への参加を促進することを目的とし、講演会を開催します。

- とき 10月1日(日) 13:30~15:30
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 講師 山口 絵理子氏(株式会社マザーハウス代表)
- 参加費 無料 ●対象 一般県民
- 定員 120名(要申込み) ●申込み 企画情報課まで

15日(日) 海外技術研修員との交流会②

岡山県海外技術研修員と午前に料理教室、午後は交流会を開催します。

- とき 10月15日(日)
- ところ 岡山国際交流センター
- 講師 海外技術研修員 ●対象 一般県民
- 参加費 料理:協会会員、外国人、高校生以下 無料
一般2,000円(交流会:無料)
- 定員 30名程度(要申込み) ●問合せ 企画情報課まで

10月

16日(月) 地球市民講座 第2回

国内外で日本文化を通じて積極的に文化交流活動している芸術家を招き、世界の人々の日本文化への関心の深さや捉え方を知る講座を開催します。

- とき 10月16日(月) 18:30~20:00
- ところ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 講師 久保 修氏(切り絵画家)
- 対象 一般県民 ●参加費 無料
- 定員 80名(要申込み) ●問合せ 企画情報課まで

22日(日) 岡山を知ろう交流バスツアー

県民と県内在住外国人を募り、貸切バスでひるぜん高原を巡ります。

- とき 10月22日(日) 8:30~18:00
- 訪問先 ひるぜんジャーニーランド、
ひるぜん 森山ホースパーク、
ひるぜん 森山ハーブガーデン ハービル
- 参加費 協会会員、外国人 1,000円/一般 3,000円
小学生以下 800円(昼食代含む)
- 定員 外国人38名、日本人24名(要申込み)
- 共催 岡山県日中懇話会
- 問合せ 企画情報課まで(9月下旬受付開始予定)

会員募集

一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

☆年会費

個人会員: 2,000円 団体会員: 10,000円
賛助会員: 30,000円

☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00~17:30(月~土曜日)
E-mail:kokusai@opief.or.jp



11月

5日(日) 英語による絵本の読み聞かせ会 特別編

今回は特別編として、たくさんの外国人講師を招いて、いろいろな絵本の読み聞かせを行います。講師の指導によるゲームなどもあります。軽食をとりながら、講師や参加者同士で交流する時間もあります。

- と き 11月5日(日) 11:00～13:00
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール
- 講 師 県内在住外国人
- 対 象 県内在住の外国人及び日本人の子ども(3歳～小学6年生)とその保護者等(※子どもだけの参加は不可)
- 参加費 協会会員、外国人、小学生以下 無料
一般 2,000円
- 定 員 60名(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで(10月上旬受付開始)

18日(土) 日本語ボランティアスキルアップ研修会

県内在住外国人の日本語学習機会の充実を図るため、研修会を開催します。

- と き 11月18日(土)
- と ころ 岡山国際交流センター
- 対 象 日本語学習指導の経験のある方等
- 参加費 無料
- 定 員 30名程度(要申込み)
- 問合せ 企画情報課まで(10月中旬受付開始予定)

19日(日) 「岡山のCOOL 発見!」第2回 ～岡山のCOOL発見の旅 Part2～

様々な国出身の県内在住外国人4名が、事前に岡山の魅力を発見する旅に出かけ、そこで感じた岡山のCOOLについて語り合います。

- と き 11月19日(日) 13:30～15:30
- と ころ 岡山国際交流センター 1階 ロビー
- 対 象 一般県民
- 参加費 無料(入退場自由)
- 共 催 一般社団法人大学女性協会岡山支部
- 申込み 不要
- 問合せ 企画情報課まで

25日(土) 国際スポーツ交流会 -ピンポンde交流-

2020年東京オリンピックに向けて、県民と県内在住外国人がスポーツを通じて交流を深めます。

- と き 11月25日(土) 13:00～16:00
- と ころ 岡山国際交流センター
- 対 象 協会会員、県内在住外国人
- 参加費 無料
- 定 員 日本人(協会会員)16名、外国人16名(要申込み)
- 問合せ 企画情報課まで(10月下旬受付開始予定)

11月

20日(月)～25日(土) 海外マガジン無料配布

2015年度配架の海外マガジンを無料でお配りいたします。

- と き 11月20日(月)～11月25日(土) 10:00～19:00
- と ころ 岡山国際交流センター 4階 図書資料室
- 配布マガジン TIME、NATIONAL GEOGRAPHIC、tuoi tre、saopaulo、読者、人民中国ほか
- 注 意 海外マガジンは一人一日5冊まで。譲り受けたマガジンの売却はできません。また、個人の読書・学習以外の目的に利用することはできません。

12月

8日(金) 地球市民講座 第3回

12月4日～10日の人権週間に合わせ、世界の人権に関する講演会を開催します。

- と き 12月8日(金) 18:00～19:30
- と ころ 岡山国際交流センター 2階 国際会議場
- 対 象 一般県民
- 参加費 無料
- 定 員 80名(要申込み)
- 問合せ 企画情報課まで(11月中旬受付開始予定)

10日(日) 第2回 留学生と県民との交流会 特別編

県内在住の様々な国出身の留学生が講師となり、文化や習慣などの紹介をします。特別編は講師を10名程度引き開催します。

- と き 12月10日(日) 10:30～14:30(予定)
- と ころ 岡山国際交流センター 地階 レセプションホール 8階 イベントホール(予定)
- 対 象 一般県民
- 参加費 協会会員、外国人、中学生以下 無料
一般 2,000円
- 定 員 60名(要申込み)
- 申込み 企画情報課まで(11月上旬受付開始予定)



昨年度の様子

問
合
せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月～土 9:00～17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月～土 9:00～17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00～18:00)

[休館日] 12月29日～1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月～土 9:00～17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

E-mail: kokusai@opief.or.jp